

『対話』の本質を考究する！

『対話』とは何か、『対話』の成立要件とは？

講師

納富信留

東京大学大学院人文社会系研究科教授

シンポジスト

頼住光子

駒澤大学仏教学部教授

澤田浩一

國學院大學文学部教授

コーディネーター

齋藤嘉則

東京学芸大学教授

司会

川出龍一

東京学芸大学助教

日時

11月22日

開場

12:00

開会

12:30

閉会

17:15

会場

林野会館 6F 603 会議室

<https://rinyakaikan.or.jp/>

申込

オンラインフォームから受け付けております

本室ホームページ (<https://kokoro.u-gakugei.ac.jp>) からもご覧いただけます。

メ切

11月17日

定員

40名

※定員になり次第メ切

学習指導要領改訂が目前に迫っています。改訂後においても教育現場においては「主体的・対話的で深い学び」や「考え、議論する道德」の継続が求められます。これらに通底するものは、子どもと子どもの『対話』、子どもと教師との『対話』です。しかし教育現場で実践されている『対話』は対話たるものとして成立しているのでしょうか。『対話』の本質について考究します。『対話』の本質について、ギリシア哲学をご専門の納富信留教授（東京大学大学院人文社会系研究科）からご講演をいただき、日本思想史をご専門の頼住光子教授（駒澤大学仏教学部）、公民科教育・道德教育をご専門の澤田浩一教授（國學院大學文学部）との意見交換を経て、『対話』の本質を解き明かし学校現場への示唆をいただきます。



東京学芸大学

先端教育人材育成推進機構
上廣道德・倫理教育研究開発推進室
〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
☎ 042-329-7783
HP <https://kokoro.u-gakugei.ac.jp>
@ kokoro@u-gakugei.ac.jp